

平成21年度第6回岐阜県事業評価監視委員会

【森林整備課所管 事後評価審議資料】

○ ふるさと林道緊急整備事業

事後評価箇所表 . . . p. 45～

パワーポイント資料 . . . p. 47～

## 平成21年度事後評価箇所表

担当課〔森林整備課〕

番 号	事業名 ふるさと林道緊急整備事業 (路線名等) あ た か す に し ぼ ら (阿多粕～西洞線)		
実施箇所	高山市久々野町阿多粕から	当初事業費	2,890百万円
	高山市朝日町西洞地内	最終事業費	2,378百万円
採択年度	平成5年度	完了年度	平成19年度
事業目的	<p>森林の多面的機能を高度発揮するため適正な森林施業の推進、林業の生産性の向上を図るため、高山市久々野町地内の国道41号線と高山市朝日町地内の市道西洞団地線とを連絡する林道を開設する。</p>		
事業概要	<p>林道開設 延長 L = 10,740 m 幅員 W = 5.0 m</p>		
概要図			

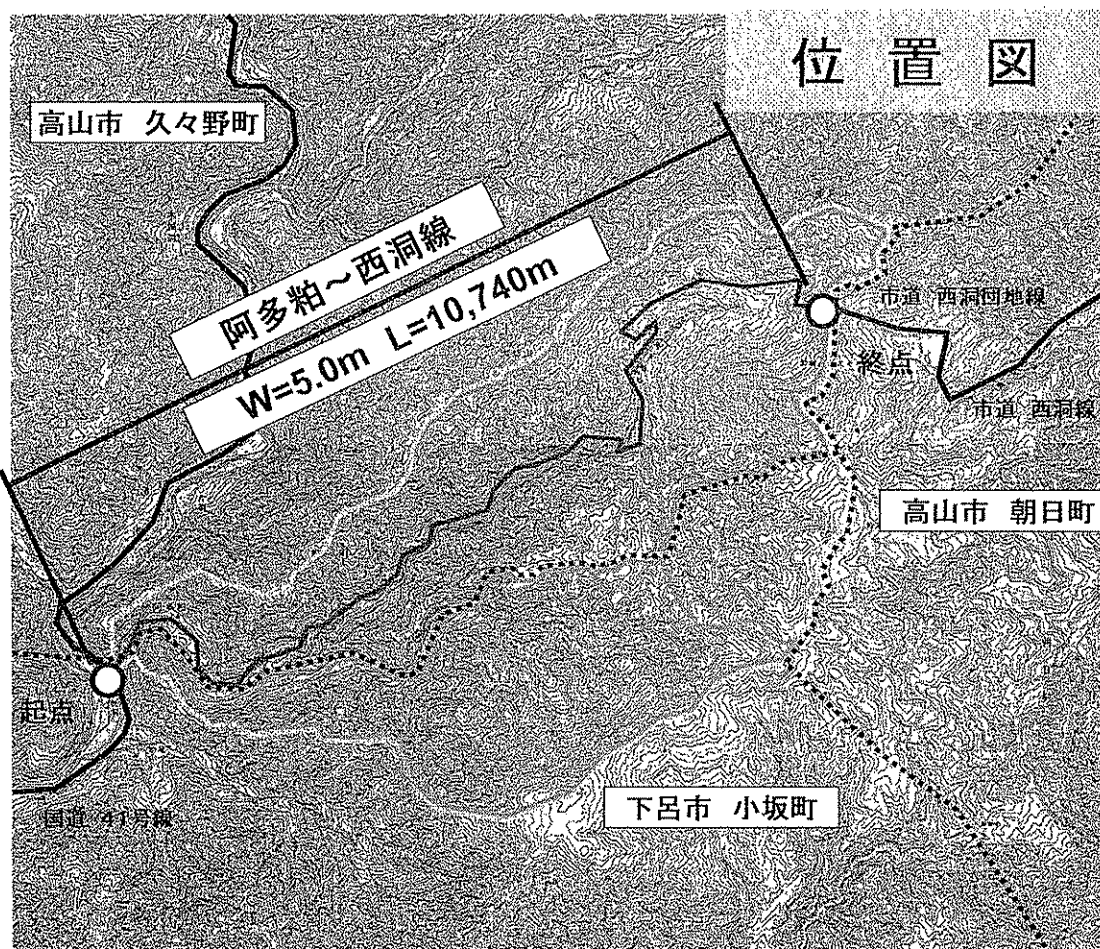
評価結果	
①住民参加・協働による効果	<p>林道完成の平成19年より、地域住民による除草作業が春・秋1回ずつ実施されている。</p>
②事業効果	<p>当林道の利用区域には人工林が1,096haあり、林道が開通し、森林施業を行うための交通の便の向上が図られたことにより、間伐について、開通前実績の年平均比較で2.5倍増加、その他森林保育にかかる施業も積極的に行われている。</p> <p>また、起点は国道41号線との取り付け部の改修により、起点部集落の交通の便が向上し、生活環境の改善が図られた。</p>
③環境面への配慮	<p>間伐材の利用促進および景観に配慮し、丸太伏工やデリネーター、標識等の構造物は木製品を積極的に利用している。</p>
④事業を巡る社会情勢の変化	<p>平成18年には高山市内に製材加工施設が整備され、平成22年度には中津川市内にて大手合板工場が稼働予定であるなど、木材の新たな需要の拡大が予想され、今後更なる作業道等の開設により森林整備が促進され、これら施設への木材の安定供給が期待されるようになった。</p>
⑤利用者・地域住民等への効果	<p>森林整備のため、作業従事者が現場へ通うのに安全・快適となった。</p>
⑥対応方針	<p>これまでの森林整備実施量や地域住民へのアンケート調査結果をふまえ、事業効果は発揮していると判断されるため、今後の事業評価の必要性はないと考える。</p>

# ふるさと林道緊急整備事業

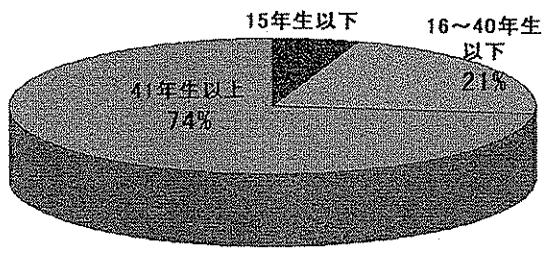
## 事後評価

### 阿多粕～西洞線

#### 森林整備課



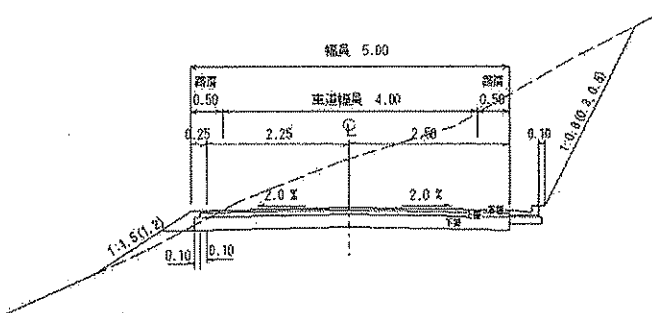
# 利用区域内森林、路網の状況



## 1. 工事概要

実施期間 平成5年度～平成19年度  
 工事概要 幅員 5.0m 開設延長 10,740m  
 当初事業費 2,890百万円  
 最終事業費 2,378百万円

標準横断面図



## 2. 住民参加・協働の状況



## 3. 事後の効果

### 費用対効果分析

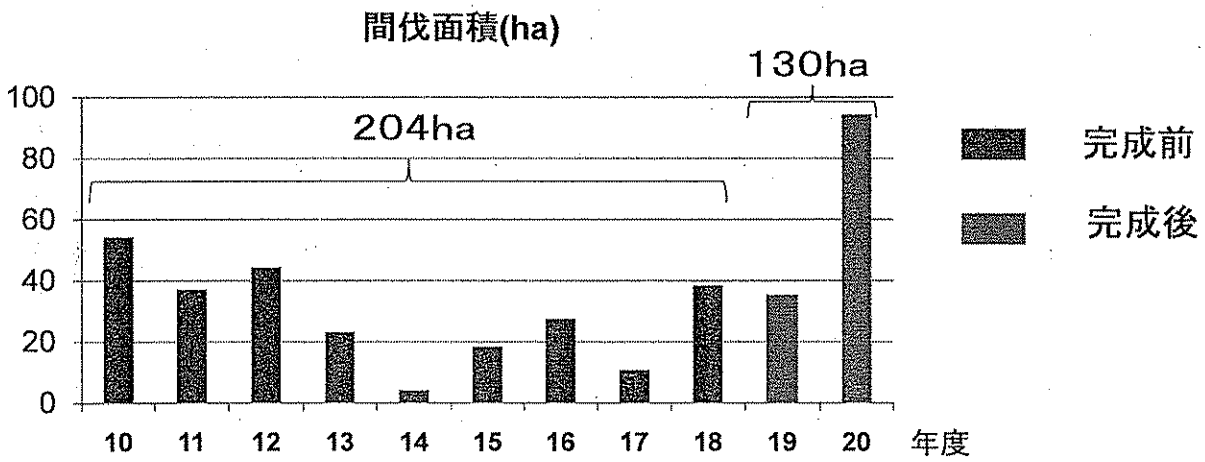
#### □事業の効果

○木材生産等便益	67%
○森林整備経費縮減等便益	30%
○一般交通便益	3%

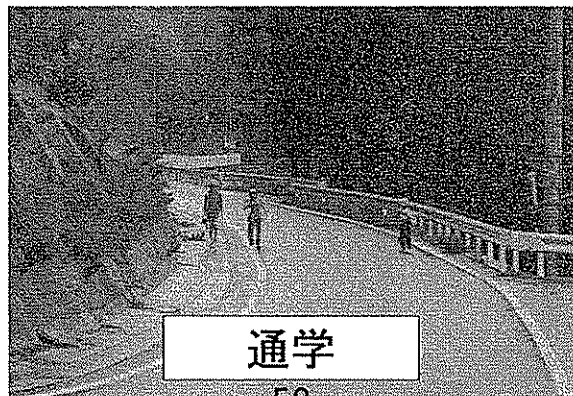
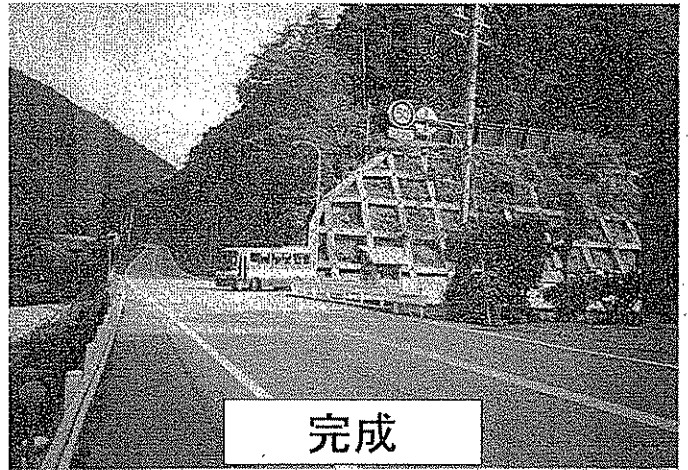
#### □投資的效果率

$$\text{効果額} \div \text{事業費} = 1.2$$

### 3. 事業の効果(森林の整備)

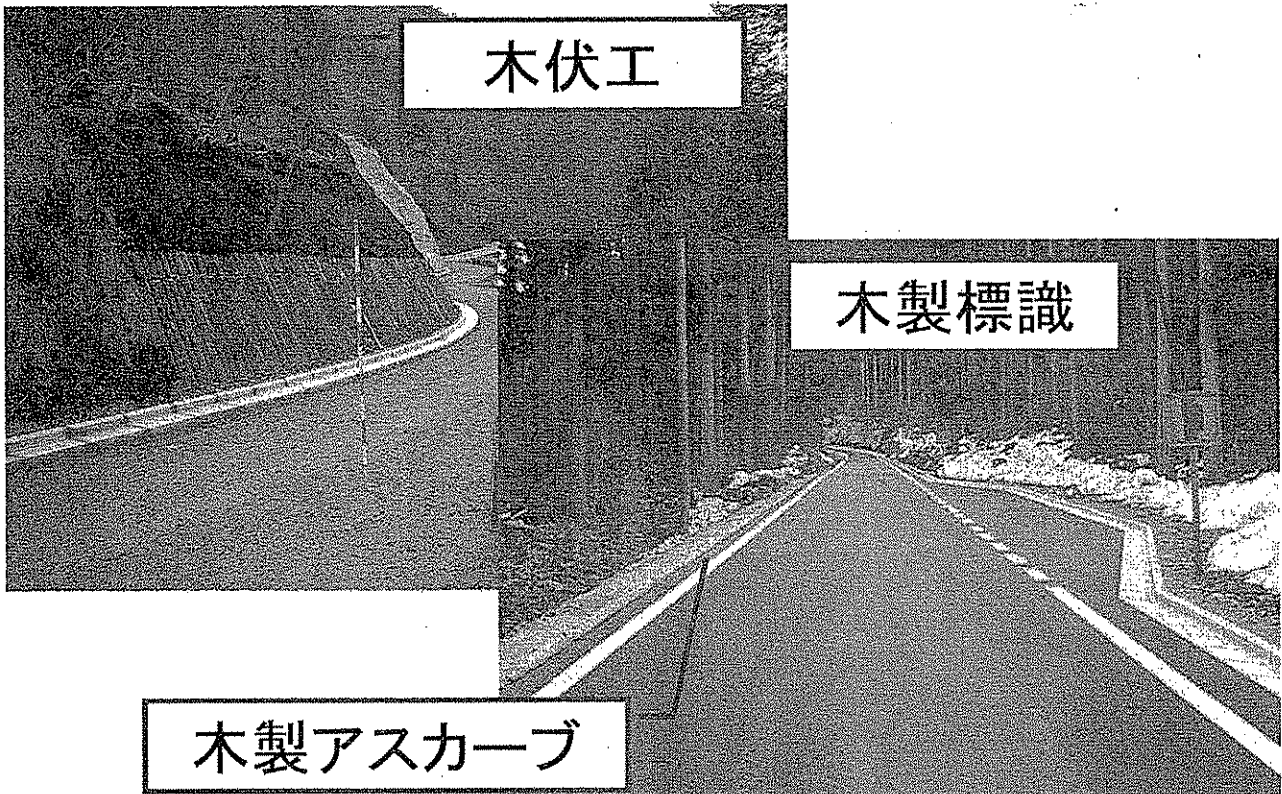


### 3. 事業の効果(地域住民の生活環境)



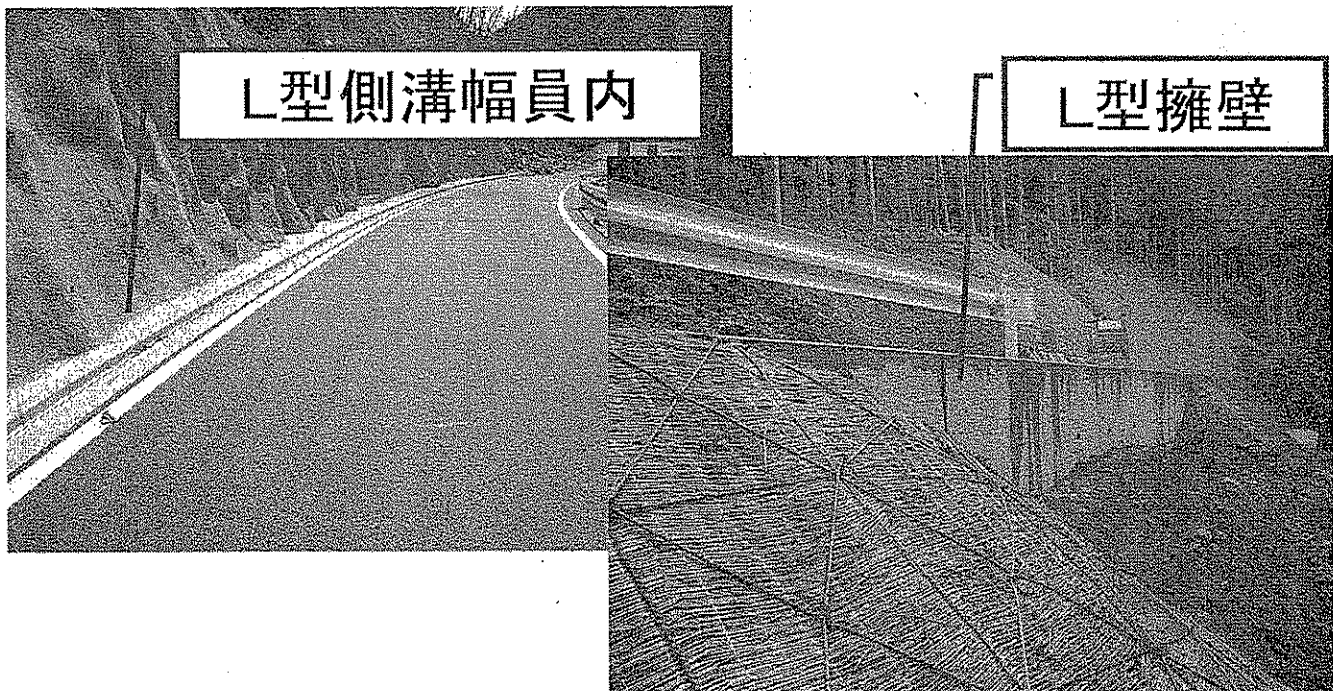
## 4. 環境面への配慮

周辺環境への配慮



## 5. コスト縮減の取り組み

- ・残土の抑制と現場内処理
- ・擁壁工(L型擁壁)の採用 等



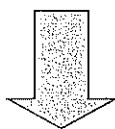


## 6. 事業を巡る社会情勢の変化

### 新たな需要の拡大

- ・製材加工施設の整備(高山市) ※H18
- ・大手合板工場の立地(中津川市) ※H22稼働予定

本事業により林道を開設

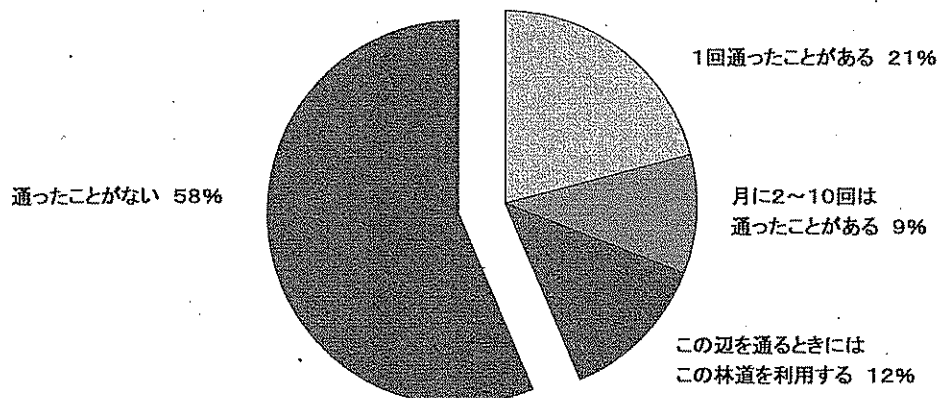


森林整備の促進、木材の安定供給の確保

## 7. 林道利用者・地域住民等への効果 その1

### \* 林道利用に関するアンケート

質問: 林道完成後、利用したことがありますか。(回答者: 107名)



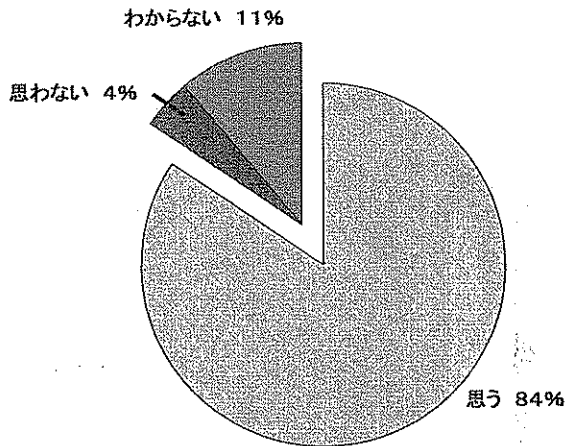
利用した・している 42%

# 7. 林道利用者・地域住民等への効果

## その1

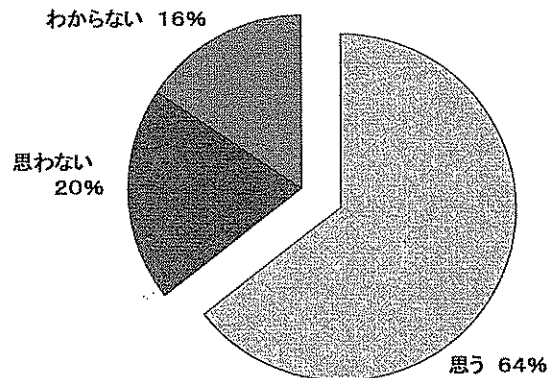
### \* 林道利用者へのアンケート

質問: 林道が森林施業に利用できる  
と思いますか。(回答者: 45名)



思う 84%

質問: この林道は国道41号のバイパス、  
災害時の迂回路として利用できる  
と思いますか(回答者: 45名)



思う 64%

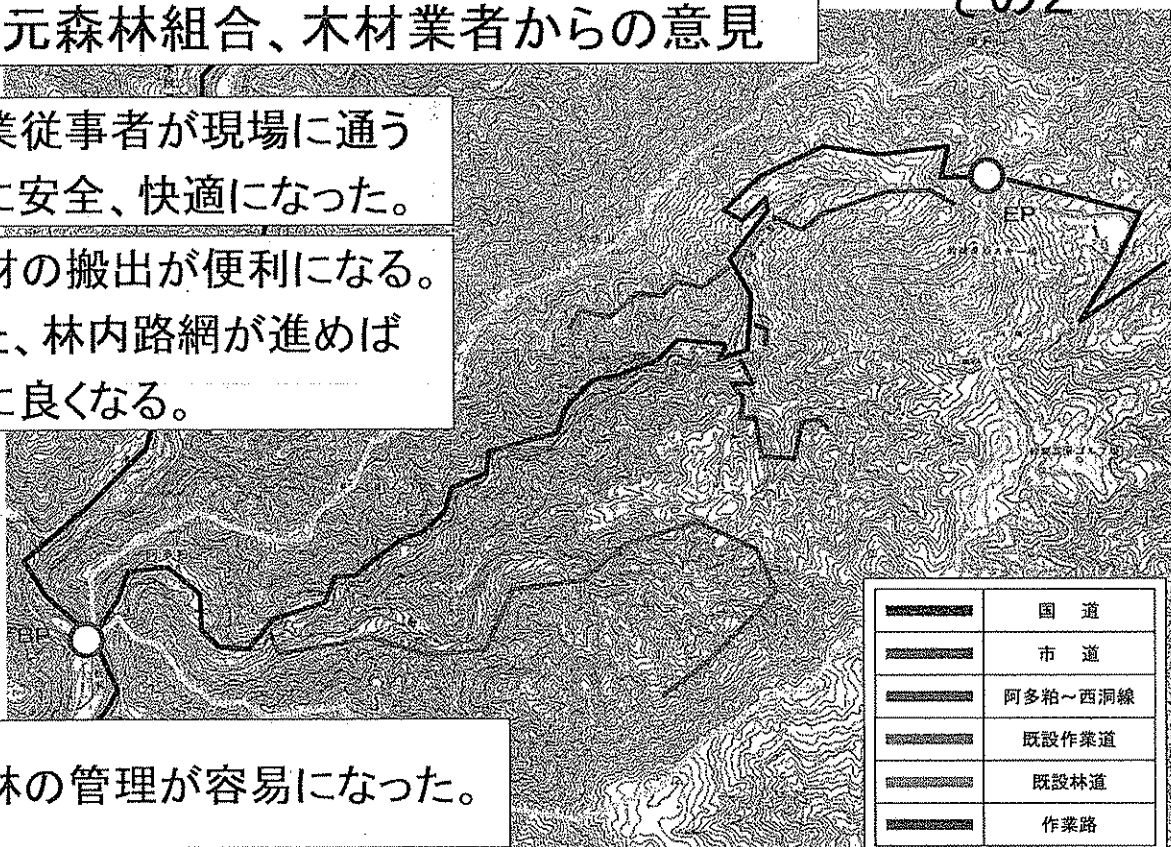
# 7. 林道利用者・地域住民等への効果

## その2

### \* 地元森林組合、木材業者からの意見

1. 作業従事者が現場に通うのに安全、快適になった。
2. 木材の搬出が便利になる。また、林内路網が進めば更に良くなる。

3. 森林の管理が容易になった。



# 7. 林道利用者・地域住民等への効果

## その3

### \* 地域住民、林道利用者からの要望等の意見

1. 冬期の除雪。
2. 落石や転石等が無いようパトロールを行って欲しい。
3. 迂回路の効果を十分発揮するため、草刈り等をしっかり行って欲しい。

---

## 対応方針(案)

### \* 今後の評価の必要性

- ・森林整備の実績やアンケート結果等から、事業効果は発揮していると判断されるため、今後の事業評価の必要性はないと思われます。

### \* 改善措置の必要性

- ・案内看板、安全施設の設置などが必要と考える。
- ・森林整備を促進するためにも、作業路の林内路網密度を高める。

### \* 新規事業へ適用すべき留意点

- ・周辺環境に配慮した計画と施工。
- ・地域住民への説明と意見を取り入れた計画。
- ・林道からの作業道開設を踏まえた計画、構造。

